

研修6日目。ボストンの街を静かに濡らす雨の朝となりました。本日はレッスンの最終日です。一週間という短い期間でしたが、お世話になった先生、共に学んだ留学生と学ぶ最後の日です。ここで学んだのは、英語だけではなくありません。もちろんクラスに参加した当初は先生や留学生の会話スピードに驚き、自分の力の無さに落ち込んだこともあります。しかし、時を重ねるにつれて、自分から発信すること、自ら進んで表現する事の大切さを学びました。様々な国から集まった私達は、共通言語の英語を使ってお互いを知り、会話を楽しみ、友情を深めました。その絆は日本に戻ってからでも続くことでしょう。

午後はMITを訪問しました。案内をしてくれたのは、MITで宇宙工学を学ぶミゲールです。ロジャービルディングで会い、数字で表現された人のモニュメントの前でMITがどのような大学か伺いました。一行はセレモニーホール、教会、学生寮、有名なグレートドームと進みます。そこで、MITの学生が行ういたずら(ハック)を教えてくださいました。例えばグレートドームの上にパトカーを乗せたこと、ビルの窓にLED証明を取り付け、テトリスを行ったことなど。学生が大学にしかけるいたずらにしては規模が大きすぎ、実行にあたって綿密な調査と研究が必要になることなど、一見面白いハックの裏側には、理系の知識が集約されていることが分かりました。ユニークな形のビル、スタタセンターを通り、教室の中に入りました。日ごろMITの学生が実際の授業で使っている教室だけあって少し緊張します。またロジャービルディングに戻ってキャンパスツアーは終了となりました。ミゲールが案内をしている際に、ここぞとばかりに質問が飛び交います。ガイド一人に対して大勢の生徒がいますので、質問をしようと様子を伺う姿が見られました。そして大学のこと、勉強のこと、進路のこと…、この貴重な機会を存分に活かす為、質問は続きました。

MITのキャンパスツアーが終わり、ボストン大学に戻る際にサプライズがありました。MITからの帰り道は、班毎に行動すること、決められた時間までに自分達だけで戻ってくる、というミッションが下りました。この知らせに、一瞬表情が固まりました。自由に時間を使えることにもっと喜ぶかな？と思っていたのですが、「どうしよう…帰れるかな」という気持ちの方が勝ったようです。とはいえ、明日は班別自由行動があります。明日の予習として、ボストンの街や地下鉄の乗り方について理解を深めるために、送り出しました。もちろん結果は、全員が時間通りに戻ることが出来ました。

夕食の後は、ここでの生活を締めくくるさよならパーティーです。ディレクターのエリックから、「卒業おめでとう！」というメッセージがあり、それぞれのクラスの先生から卒業証書が手渡されました。一緒に勉強した同じクラスの留学生と笑顔を交わしながら、ここで学んだ多くのことを分かち合いました。ポルトガル、ウクライナ、ベトナム、ロシア、トルコの留学生達とともに、学校を卒業です。和やかな雰囲気の中、卒業証書授与が終了。突然電気が消え、ミラーボールが光り、ダンスミュージックが流れ始めました。授与式の後、今夜はディスコナイトです。音楽に合わせて体が動く留学生達。一方の中部生は辺りを見回し、何からして良いのものか…としばらく立ち尽くしていました。こちらの心配をよそに、その後は留学生と共に記念撮影をしたり、ダンスを踊ったり、連絡先を交換したり、と思いきいに楽しみました。

明日はいよいよボストン最後のプログラム、班別自主研修を行います。この一週間の集大成として、自分達だけで半日過ごして頂きます。以上、本日のご報告とさせていただきます。

宇宙工学を学ぶミゲール



MIT はどんな大学か? を聞きます



移動中も聞きたいことが沢山あります



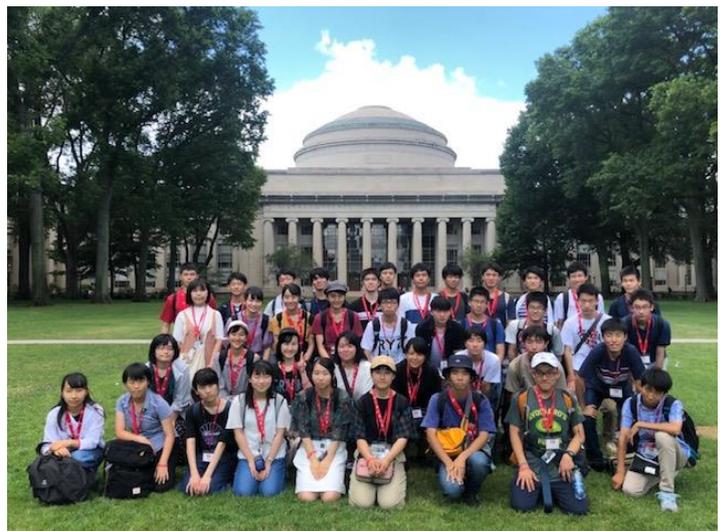
MIT の講義室



この窓でテトリスが行われました



グレートドーム



別れがたい瞬間です



お世話になったボストン大学



ディレクターのエリック



卒業証書授与



ディスコナイト



クラスの仲間と

